

原市場聖書教会

NO. 957

週 報

年間聖句

15, 私たちはイエスを通して、賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の果実を、絶えず神にささげようではありませんか。

16, 善を行うことと、分かち合うことを忘れてはいけません。そのようにいけにえを、神は喜ばれるのです。

ヘブル 13章 15～16節



2023. 8. 6

主日礼拝

2023年8月6日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：渡辺恵姉
受付：若村めぐみ姉

ワーシップ賛美	「あなたの瞳」	—	同
祈り		司会者	
ワーシップ賛美	「主イエスの十字架の血で」	—	同
使徒信条		—	同
主の祈り		—	同
賛美	聖歌番408番「おんめぐみとおんひかりの」	—	同
献金		—	同
感謝の祈り		渡辺恵姉	
聖書朗読	マタイ20章1節～16節	司会者	
説教	「変わらない神の愛と揺れ動く人の心」	若村和仁師	
黙祷		—	同
賛美	聖歌539番「見ゆるところによらず」	—	同
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝祷		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「変わらない神の愛と揺れ動く人の心」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

マタイ20章1節～16節

- 1, 天の御国は、自分のぶどう園で働く者を雇うために朝早く出かけた、家の主人のようなものです。
- 2, 彼は労働者たちと一日一デナリの約束をすると、彼らをぶどう園に送った。
- 3, 彼はまた、九時ごろ出て行き、別の人たちが市場で何もしないで立っているのを見た。
- 4, そこで、その人たちに言った。『あなたがたもぶどう園に行きなさい。相当の賃金を払うから。』
- 5, 彼らは出かけて行った。主人はまた十二時ごろと三時ごろにも出て行って同じようにした。
- 6, また、五時ごろ出て行き、別の人たちが立っているのを見つけた。そこで、彼らに言った。『なぜ一日中何もしないでここに立っているのですか。』
- 7, 彼らは言った。『だれも雇ってくれないからです。』主人は言った。『あなたがたもぶどう園に行きなさい。』
- 8, 夕方になったので、ぶどう園の主人は監督に言った。『労働者たちを呼んで、最後に来た者たちから始めて、最初に来た者たちにまで賃金を払ってやりなさい。』
- 9, そこで、五時ごろに雇われた者たちが来て、それぞれ一デナリずつ受け取った。
- 10, 最初の者たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思ったが、彼らが受け取ったのも一デナリずつであった。
- 11, 彼らはそれを受け取ると、主人に不満をもらした。
- 12, 『最後に来たこの者たちが働いたのは、一時間だけです。それなのにあなたは、一日の労苦と焼けるような暑さを辛抱した私たちと、同じように扱いました。』
- 13, しかし、主人はその一人に答えた。『友よ、私はあなたに不当なことはしていません。あなたは私と、一デナリで同意したではありませんか。』
- 14, あなたの分を取って帰りなさい。私はこの最後の人にも、あなたと同じだけ与えたいのです。
- 15, 自分のもので自分のしたいことをしてはいけませんか。それとも、私が気前がいいので、あなたはねたんでいるのですか。』
- 16, このように、後の者が先になり、先の者が後になります。』

今週のワーシップ賛美

6 主イエスの十字架の血で

「私たちのために今や和解を成り立たせてくださった」
(ローマ5:11)

Kandela Groves

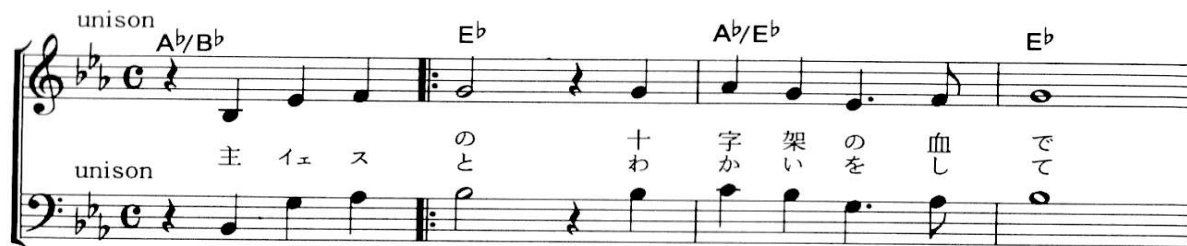
作詞

作曲

山口 昇

訳詞

unison A^b/B^b E^b A^b/E^b E^b



unison 主 イエ ス の と 十 わ 字 か 架 い の を 血 し て

$Cm7$ $C7$ Fm 1. A^b/B^b B^b7 E^b



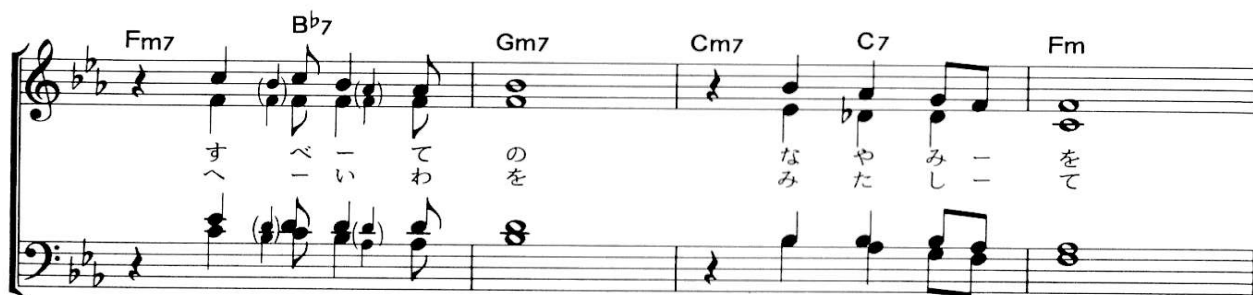
わ へ た い し あ ん は を ゆ る さ れ

2. A^b/B^b B^b7 E^b D^b/E^b E^b7 A^bmai7



み か み 得 ま し た だ か ら こ いろ ま に

$Fm7$ B^b7 $Gm7$ $Cm7$ $C7$ Fm



す べ い て わ の を な や み し て

1. A^b/B^b B^b7 E^b D^b/E^b E^b7 2. A^b/B^b B^b7 E^b



ゆ だ ね よ う 主 は こ く だ さ る

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしくよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。

アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいただいたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり

アーメン

御言葉紹介

★ピリピ人への手紙 3章 12～14節

12, 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

13, 兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと考えるはいません。ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、

14, キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるといふ、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです。

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より引用

●目標を達成して威張っている人を見るよりも、目標目指して一心に謙虚に走っている人の姿って不思議ですが感動させられ、励まされるのではないのでしょうか？

この書の著者であるパウロは、ダマスコ途上での「回心」を経験する以前はイエスキリストの弟子たちを迫害し、殺害計画まで立てているような方でした。自分こそ生粋のユダヤ人であり、律法の専門家であり、聖書のこと、神のことを一番よく知っていると言わんばかりの自信を持っている人でした。そして、自分の考えとは違う人は神に逆らう悪だと思い込み、イエスキリストの弟子たちを殺害するために旅に出るほどだったのです。しかし、その旅の途中でパウロは、神様から打ち砕かれる経験をしたのです。その出来事とは、旅の途中突然天からの光を浴び、立ってられなくなり倒れてしまったのです。その時同時に神からの声が聞こえたのです。「なぜわたしを迫害するのか？」と神から問いかけられたのです。そして、それ以降パウロは目が見えなくなりました。その出来事を通して、パウロは、イエスキリストの弟子たちを迫害することは自分の求めていた神を迫害していたことに気づかされたのです。パウロは自分が正しいと思っていたことが逆にすべて間違っていたことを知らされたのです。その後、神の指示で、自分が迫害していた人たちのもとへ行きなさいと言われその声に従って出向いたのです。そこで自分が迫害し苦しめてきた人たちから助けられる経験を、神の愛を体験したのです。

その出来事以降パウロは自分自身とんでもない罪を犯したことに気づかされたのです。神のためにと思い行動していたことは神様を悲しませることだったことに気づかされたのです。完璧なお方は創造主なる神様であり、救い主イエスキリストであることを知ったのです。それからは、パウロは「自分はすでに得ている完ぺきな人という態度ではなく、後ろのものを忘れ、前に向かって神様の前に謙虚になり、ひたすらに神を求め前に進む者」へと変えられたのです。

私たちは、神ではないので、生きている限り罪を犯さない完ぺきな人にはなれません。せっかく学んでも時間がたてば忘れてしまうような弱さがある私たちです。だからこそ、神様の愛と正しさを常に求め続けることがとても大切なのです。

私たちもまだまだ気づかされていない神様の恵みに気づかせていただくよう神様に目を向けまっすぐ走り続けるものでありたいです。

原市場聖書教会

若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

●本日も礼拝後自家焙煎コーヒーをご用意しています。お時間のある方お変わり下さい。

★原市場聖書教会での礼拝は以下の個人の感染防止対策にご協力お願いいたします。

1, 発熱等の症状がある場合は、無理をせず Zoom をご利用下さい。

2 マスクの着用については個人の判断を基本といたします。

体調がすぐれないと感じられた際は着用をご検討ください。

●夏期特別献金の封筒を準備いたしました。夏まで守られた感謝のしるしとしてお献げ下されば感謝です。また続けて教会会計の必要が満たされるようお祈りください。

本日午後の予定

☆自家焙煎珈琲タイム

次週礼拝（8月13日〈日〉）

司 会：本多崇兄 聖餐司式：若村和仁師

聖 書：マタイ20章17節～28節

説 教：「皆に仕える者になりなさい」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：ワーシップ賛美「あなたの瞳、父の涙」

聖歌118、聖歌298、教会福音讃美歌259、聖歌383

受 付：若村めぐみ姉 献金感謝祈祷：渡辺愛秀兄

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
7月30日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	2人			
	礼 拝	2+0人	6+2人	8+4人	22(16+6)人
		(※各集会「対面+オンライン」表記となります。)			
	夕 礼 拝		希望者がありませんでした。		
8月2日(水)	祈 り 会		お休みでした。		

集会案内

8月9日(水)	祈 り 会	お休みです。
8月13日(日)	ハレルヤキッズ	09:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

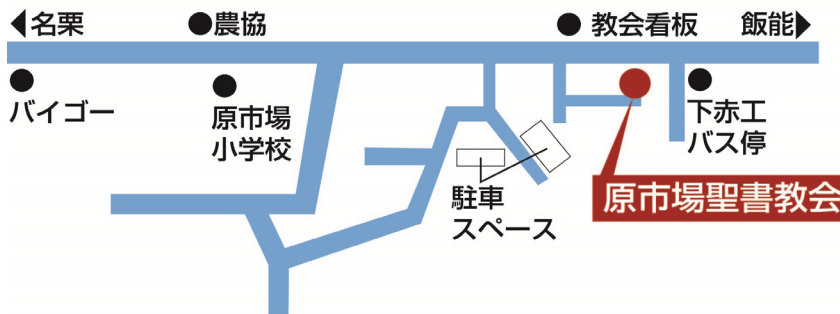
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♯ ややはやく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッススペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁